【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公開番号】特開2015-139945(P2015-139945A)
【公開日】平成27年8月3日(2015.8.3)
【年通号数】公開・登録公報2015-049
【出願番号】特願2014-14090(P2014-14090)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　11/08　　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/01　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　11/08
Ｂ４１Ｊ　2/01　　３０５

【手続補正書】
【提出日】平成29年1月6日(2017.1.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
記録媒体の搬送方向に複数の吸引孔が配列された吸引孔列が、前記搬送方向と交差する幅方向に複数設けられたプラテン面を有し、前記プラテン面に前記記録媒体が載置された状態で、所定の位置に移動するプラテンと、
前記吸引孔列ごとに設けられ、前記吸引列を塞ぐことが可能な吸引孔開閉部材と、
前記吸引孔開閉部材に係合可能な係合手段と、を備え、
前記吸引孔列の上に前記プラテン面に載置された前記記録媒体がある場合、
前記プラテンが前記所定の位置に移動するとき、前記吸引孔開閉部材と前記係合手段とが係合せず、
前記プラテンが前記所定の位置に位置するとき、前記吸引孔列が塞がれず、
前記吸引孔列の上に前記プラテン面に載置された前記記録媒体がない場合、
前記プラテンが前記所定の位置に移動するとき、前記吸引孔開閉部材と前記係合手段とが係合して、前記吸引孔開閉部材が移動され、
前記プラテンが前記所定の位置に位置するとき、前記吸引孔列が前記係合手段との係合により移動された前記吸引孔開閉部材によりを塞がれることを特徴とする吸引プラテン機構。
【請求項２】
前記係合手段は、前記所定の位置に位置する前記プラテンの前記プラテン面から離間する方向に移動可能に支持される係合部材を備えていることを特徴とする請求項１に記載の吸引プラテン機構。
【請求項３】
前記係合手段は、前記係合部材と接触可能な係合位置固定部、を備え、
前記吸引孔列の上に前記プラテン面に載置された前記記録媒体がある場合、
前記プラテンが前記所定の位置に移動するとき、前記係合部材が前記プラテン面から離間する方向に移動され、
前記プラテンが前記所定の位置に位置するとき、前記係合位置固定部と前記係合部材とが接触し、前記係合部材は前記係合位置固定部により、前記係合部材と前記プラテン面

との間に所定の隙間を有する位置に固定され、
前記記録媒体は前記所定の隙間を搬送されることを特徴とする請求項２に記載の吸引プラテン機構。
【請求項４】
前記吸引孔開閉部材は、前記媒体の搬送方向に延在し、
前記吸引孔列の上に前記プラテン面に載置された前記記録媒体がない場合、前記プラテンが前記所定の位置に移動するときに、前記係合部材と前記吸引孔列に対応する前記吸引孔開閉部材とが係合し、前記吸引孔開閉部材が上流側から下流側にスライドされて前記吸引孔列の前記吸引孔が塞がれることを特徴とする請求項２または３に記載の吸引プラテン機構。
【請求項５】
前記吸引孔開閉部材には、対応する前記吸引孔列に含まれる前記吸引孔の配置と同じ配置の貫通孔が形成されていることを特徴とする請求項４に記載の吸引プラテン機構。
【請求項６】
前記吸引孔開閉部材が、前記プラテン面上を搬送可能な最小幅の前記記録媒体と重ならない位置に配置された前記吸引孔列に対して設けられていることを特徴とする、請求項２乃至５のいずれか１項に記載の吸引プラテン機構。
【請求項７】
請求項１乃至６のいずれか１項に記載の吸引プラテン機構と、
開閉される開閉蓋と、を備え、
前記開閉蓋が開けられたとき、前記プラテンが前記所定の位置と異なる位置に移動され、
前記開閉蓋が閉じられたとき、前記プラテンが前記所定の位置に移動されることを特徴とする液滴吐出装置。
【請求項８】
前記記録媒体は長尺物であり、
前記開閉蓋は、前記長尺物がロール状に巻き付けられたロール体が前記液滴吐出装置に収容される際に開けられ、前記ロール体の一部が前記プラテン面上に引き出された状態で閉じられることを特徴とする請求項７に記載の液滴吐出装置。